



138

2026年(令和8年)

7/21

発行

あなたと議会のかけ橋に

苓北町議会だより

きずな



九州電力苓北火力発電所

富岡ビジターセンター



主な内容

- 一般質問 2～6
- 定例会 6～9

発行 苓北町議会 TEL35-3337
編集 議会広報特別委員会

一般質問

(令和8年 第3回議会定例会)

人口減少対策について

問 荅北町の近年の人口減少が著しく、令和8年4月末で、5951人、(内外国人107人)、日本人だけでは、5844人となっており、今後人口の増加は考えられない状況で、むしろ急激な減少が予測されると思う。人口減少が自治体と与える影響と課題は、「税収減少」「財政悪化による行政サービスの低下」「労働力不足」「地域経済の停滞」などが生じる。もう少し踏み込んだの施策が必要ではないか。

○町の活性化に向けた、町民と地域おこし協力隊及び、天草れいほく観光協会の積極的な連携活動
○山地農業、山地酪農などの推進
○日本語教室の実施
○町内新規就労者への就職支度金支給
○空き家バンクを活用し、購入者及びリフォーム者などへの条件付き補助制度の充実

○就学者の地元企業への就労実習体験学習の強化など。今後の施策について質問します。

答弁

①子育て並び高齢者福祉の充実及び健康づくりの推進に係る施策、②地域を支える人材確保と基盤産業の振興に係る施策、③町の指名度向上と関係人口・交流人口の創出・拡大に繋がる施策、④安心・安全に繋がる防災減災並びに国土強靱化施策の



錦戸 俊春 議員

5項目を重点取組事項を掲げ取り組んでいる。

さらに効果が高められるよう施策を進める上で参考にし、担当部署において内容の充実・強化を図りながら取り組み、随時総合戦略の修正・見直しを行いながら、計画実現に向け取り組む。

高校入学準備資金助成について

問 天草拓心高校マリン校舎入学生への入学準備金廃止条例が提案され可決された。令和9年度から支給されないことになる。

子育て支援の観点から、高校入学者全員に、荅北町独自の施策として助成することをお願いしてきた。町の支援施策が衰退している気がする。子育て支援策を充実させることが、町民また次代を担うお子様は、町に対する思いをなお一層深めると思う。入学準備資金の助成をするこ

答弁

高校生への子育て支援の在り方については、引き続きその助成金支給の目的並びに財源の見直し等も考慮しながら、子育て支援策の総合的な支援メニューの検討を行う考えである。

一 活き活きと暮らせるまじゅく

くり

(一) 人口減少社会への対策

質問

浜口 日本は世界の中でも有数の長寿国として知られています

が、その一方で子供の数が減少している。今後、これまで以上の高齢社会を迎えることが予測されるが、どのような政策が必要なのですか。具体的な手段として考えられるのが企業誘致でしょう。先般県内に半導体受託生産世界最大手の企業TSMCが進出されました。こんな大企業が県内に存在しているのに見過ごす術はありません。先の議会で天草エアラインの予算補正も議論されました。これらの基幹路線の整備に躊躇してはなりません。

回答 山崎町長 TSMC関連企業の誘致は熊本市から遠隔地にある事から厳しいと考える。この熊本天草幹線道路の整備は上天草市、天草市等と荅北町が連携し期成会を設立、早期の全線開通に向け国等関係者への要望活動を積極的に取り組んでいる。熊本天草間の幹線道路や天草エアラインなどの経



浜口 雅英 議員

営安定化は、関係人口や交流人口の拡大につながり企業誘致を進めるための重要な要素の一つ。

(二) 過疎化自治体からの脱却

質問

浜口 繰り返しになりますが、記録的大雨で上天草市の国道が一時通行止めになった。この様な中で、国は地域高規格道路の計画路線に指定、結果延長70kmの内18kmが開通したに止まっている。町単独ではなく、国県を巻き込んだ施策と予算の確保によって荅北町を過疎化自治体から脱却させるべき

回答 山崎町長 議員ご指摘通り、過疎化自治体からの脱却は人口減少を抑えていく事。現在交流人口、関係人口の拡大に向けた事業を進めている。フェリー復活も熊本天草間の幹線道路も過疎化からの脱却へ向けて必要かつ重要なインフラと考えており、各種全国大会や、協議会へ出席し要望活動を行っている。

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

一 町づくりに対する町長の考え方について

質問

町長は、町の事業・施策を進めていくうえで、国・県の動向を見ながら進めていきたいと言われている。本年3月議会定例会で提案された議案第11号・第14号、それぞれ訂正後可決・可決となった。町長の説明では、国、県の制度が充実したからというのが、理由のようだが、この2件とも町が少子化に対する政策、天草拓心高校マリン校舎に対する町の思いであるものと考えているが、今後もこのような考えですすめていかれるのか、伺う。

町長 「少子化は国を滅ぼす」と早い時期から子育て支援対策を行ってきた。今後も国、県の支援策を見ながら、全国一律の基準だけでは、カバーできない課題があるので、総合的な観点から子育て支援策を行っていく。

要望 いくら国、県の制度が充実したからといっても、町の特徴ある制度は残してもらいたいと考えている。

二 農業政策について

農地利用効率化支援交付金事業について

質問

令和7年、令和8年と要望調

1. 富岡港の新しい活用についての提案

2. 天草拓心高校マリン校舎の魅力化推進についての提案



田嶋 健司 議員

問①

長崎航路で使用していない船を、熊本からの玄関口にもするべく、熊本港と天草を結ぶ航路の復活を富岡港からスタートする航路を開設し、運航することはできないか。例えば、週末限定で朝夕2往復、富岡港と二江(本渡港)湯島(熊本港)というルートはどうか。町単独で行うのは困難だが、3市町で協力し、熊本県まで巻き込めば、可能性があるのでないか。災害や渋滞に強い交通インフラとして、また二地域居住者の交通手段として、需要があるのではないかと考えている。

非常に面白いアイデアと考えるが、富岡港と熊本港を結ぶ航路は「国の補助航路」として認められることは難しいのではないかと考えられ、認められない限り、採算が取れない場合の負担が大きいと見込まれる。荅北観光汽船の考えもお聞きしながら、様々な可能性について検討して参る。熊本県、上天草市、天草市と協力すれば、負担は少ないのではないかと。観光振興としても重要なので、強く検討をお願いする。

再質問

天草拓心高校マリン校舎の海洋学科のような専門性が高く、ここでしか学べないという学科を創ることはできないか。例えば、魚の目利きや調理の技術を学べる鮮魚科や、水族館の飼育員を目指す飼育員科など、

町長

他にはない、それぞれの分野のスペシャリストを育てる学科を、マリン校舎に提案してみるのはいかがか。熊本県は、令和8年5月15日に高校教育改革を先導するモデル校としての候補に、菊池農業高校・天草高校・人吉高校・熊本高校の4校が選ばれている。モデル校に選ばれたら、基金から支援を受けることができ、施設・設備の導入や改修費も支援対象になるとのことです。熊本県に、マリン校舎をモデル校候補として要望する事はできないのでしょうか。モデル校に選ばれたら、基金から支援を受け新しい学科を設立しやすくなるのではないかと。

問②

私も更なるマリン校舎の魅力化により、町内のみならず、町外、県外からの入学者増につなげていきたいと考えており、令和8年6月8日に天草拓心マリン校舎魅力化推進協議会を開催し、これまでの取り組み状況を踏まえ、立地環境やマリン校舎の特徴、新しい学科案を含め、多角的な視点から議論を深め、魅力化の取り組みを推進して参る。マリン校舎をモデル校候補にはできないが、天草工業高校を拠点とする天草管内の高校に含まれているので、連携強化について意見交換を行い、マリン校舎の魅力化推進に取り組んで参る。



田嶋 健司 議員

査があったが、要望はあったのかどうか、また今までのポイント制の事業との関連はどうなっているのか。
町長 令和7年に2件あり1件が採択、令和8年の1件は申請中である。ポイントの高い順に採択される仕組みは変わっていないが、「地域計画」「目標地図」に位置付けられていることが、他の地域に比べポイントが加算される状況となっている。

再質問 有利な点があるなら周知して、利用者を増やしてもらいたい。「地域計画」「目標地図」が出来、これからが正念場だと思う。いかに経営体別に、集積できるか、大きな課題であると考えている。国の農業の予算の中で、別枠で5年間で2兆5千億円の前算がくまれている。それを利用して、不利な条件となる農地改革を行い、集積しやすい環境をつくる研究をしてみてはどうか。

町長 農家の方々の意見を聞きながら対応していきたい。

要望 農業者が生き残っていけるような政策・対策に頑張ってもらいたい。

質問 里道の管理について

問① 里道は、「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法）」が平成12年4月1日に施行され、現実に道路や水路としての機能を有しているものについては平成17年3月31日までに市町村へ無償譲渡されたが、苓北町で譲渡を受けた里道はどの位あるのか。

問② 住民の重要な生活道路となっている里道の把握は調査しているのか。里道の舗装等は、これまで役場から生コン等資材の支給を受け区役で実施していたが、近年人口減少と高齢化が急速に進み劣化したコンクリートの打ち換えや側溝の維持補修を区役で行うことは大変困難な状況にある。苓北町では、里道の維持補修等を「やまびこ事業（年30万円）」により各区で実施させているが、多額の費用がかかる舗装の打ち換えや側溝補修等は里道管理者の町で計画的に改修を実施すべきではないか。

問③ 町が独自に定める町道認定基準は、幅員が3m以上で延長200m以上となっている。現に車両が通行し住民の重要な生活道路となっている里道については、幅員等が多少不足している場合でも町道に認定して適正に維持管理すべきと思うが町長の考えを問う。

町長 問① 里道については、法定外公共物として国から市町村へ譲渡され、町の地籍管理システムで「道」となっている筆数は2,126筆あり総延長は把握していない。内訳は、坂瀬川地区525筆、上津深江地区211筆、志岐地区540筆、富岡地区271筆、都呂々地区579筆ある。

問② 車両が通行でき住民の重要な生活道路として利用されている里道の把握はしていないが、必要に応じ現地確認を行い地域の実情を掴みながら安全管理に努めて参りたい。今後、大規模な里道の修繕等に対し具体的にどのような対策を実施すべきか、補助事業の有無ややまびこ事業以外の予算枠を設けるかどうか検討して参る。

問③ 里道の町道認定に当たっては、数値的な基準に基づく判断に加えて、利用状況や地域の実情、防災上の必要性なども個別に検討していく必要があると認識。大規模な修繕等に対する予算措置と併せ検討を行うて参る。



山口利生
議員

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

問① 西川内漁港における有効活用 海業の展開について

一、地域の水産業と観光・交流をどう融合させるか

二、どのような民間企業と協力し、雇用の場を確保するか

三、漁港施設や空き家、景観をどのように海業へ活用するか

苓北町としてどのように具現化していけるか、伺う。

※海業（うみぎょう）とは

地域の理解と協力の下、漁業上の利用を確保した上で、漁港施設・水域・公共空位を有効活用し、水産物の消費増進や交流促進に資する事業のこと

町長 地域座談会で決めていただいた【暮らしと地続きの海業】を西川内漁港の海業取り組みコンセプトに掲げ、漁港が【地域の漁業の拠点であり続けること】漁港を【地域の方々の暮らしの延長で使うこと】漁港に【来訪者を受け入れること】漁港で【地域外の事業を受け入れること】の四つを推進方針として、地元漁業者、住民の方々、漁協などの関係機関と連携調整を図りつつ、西川内漁港における有効活用、海業の展開を進めて参る。



廣田幸英
議員

問② 苓北町の町営住宅に相当数の空きがあるようだ、今後どのように維持管理していくお積りか、伺う。

町長 今後ますます高齢化が進行する社会情勢において、住宅の確保に配慮を要する方々を支える施設としての町営住宅の役割は極めて重要であると認識している。現在の入居戸数は76戸、空き戸数は28戸であり、志岐地区の鞍付住宅3戸は、レッドゾーンに該当しているため募集を停止、衝錠一般住宅A棟の4戸は二地域居住用の施設として改修を予定している状況にある。それを除くと空き戸数は21戸となる。

本年度から国の交付金を活用し、外壁・屋根改修工事を行うこととしている。今後においても町営住宅が町民の安心・安全な暮らしの基盤となり、セーフティネットとしての役割をしっかりと果たして参る所存である。

一 国道三八九号の安全対策と石炭灰の有効活用

私はこれまでに一般質問等において複数回、本箇所の安全対策を求め、特に石炭灰による国道の嵩上げを実施し、安全対策と併せて石炭灰の有効活用が図られないものか、一般質問や委員会においてお願いをしてきた。しかし受け入れてもらえず現在に至っている。

しかしながら、**今回事の重大さを考慮し、あえて再度**お願いします。

米国の軍事行動以来、中東情勢は悪化し原油の供給は途絶え、経済状況は悪化をたどる一方である。

そのために、苓北発電所はフル稼働で、**石炭灰が大量に発生**し、灰捨て場を埋め尽くす勢いである。

このような状況下で、日本経済を少しでも支えていくための協力が必要ではないか。

石炭灰を活用した国道三八九号の嵩上げ改良工事は、数々のメリットがある。

- ① 国道三八九号防災対策。
- ② 石炭灰の有効活用。
- ③ エコアッシュの活用。
- ④ その他。

国土交通省大臣は、地元選出の国会議員である。環境省等と連携して、事業の推進を図って頂くよう強く要請を求める。

※国交省大臣が地元選出の国会議員であることから、**石炭灰の有効活用により国道三八九号竹の迫崩壊対策**を国に求めるよう要求したが、この事について確たる回答なし。

二 都呂々港湾の浚渫

河口港である欠点から、土砂等により港内は埋まり、新都

呂々橋の上流まで、土砂が堆積している現在、このまま放置した場合、都呂々側河口一体に流れ出している小河川が逆流し、**流域一帯水没する恐れ**がある。早急な対策が必要。

町長 堆積状況等又、治水防災等を踏まえ、対策について、検討を行っていく。

三 カスタマーハラスメント対策

苓北広報4月号に大々的に基本方針が掲載しており、基本的な考え方から定義、対応、対策とあり最後に職員の対応について掲げてあった。

今までどおりでだめなのか、5千人台の苓北町で、和気藹々の行政が出来ないのか。特に職員配置図の配布廃止は町民サービスに欠けるのではないか。

町長 健全な職場環境を確保し、町民皆様へ質の高いサービスの提供が出来るよう努めていく。

四 学校敷地外の事故対応

磐越自動車道で、21人の高校生が死傷した事故が発生した。部活の遠征に行く途中でやむを得ないと思われるが、教育は学校敷地内の施設により授業が行われるのが基本と思われる。

現在、町内小中学校で、施設外での授業の有無。有るとすれば科目と理由、事故の責任の対応を尋ねる。

教育長 文科省の指導要領に基づき小中学校の目的に応じ実施している。（科目等省略）
事故の責任は地方公共団体。



松本良人
議員

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

① マリン校舎活性化支援で学科新設等は
② (株)レノバ(風力発電)・町・県との三者協議開催を

問① 天草拓心高校マリン校舎の前身は、昭和16年県立漁民道場として開設され85年、現生徒数は99人となっているが、少子化に伴い県は2027年度から2034年度にかけ全日制50校中、大規模校を含む62学級程度削減する計画があり、町としてマリン校舎存続に向け魅力ある活気ある支援等を講じていく必要がある。

昭和59年6月、中国の上海水産学院一行6人は日本の水産大学視察の折り、県立水産高校（現マリン校舎）に立ち寄り施設の充実に驚き、また、蒲鉾、天ぷらを試食され大喜びされた。その後、同年9月、実習船第二代「熊本丸」（295トン）で上海水産学院（現上海海洋大学）を訪問、本校と友好親善を結ばれている。

熊本県は60年5月県庁で同学院へ「熊本丸」の譲渡式が行われ後日、富岡から出港。後に上海から実習船で富岡に入港されている。このご縁を活かし、マリン校舎に「中国語学科」と「海洋土木学科」新設はどうか。

今、中国語は国際的にその需要は高く、中国の巨大市場と経済的繋がりは大きく、高い就職率と言われている。また、海洋国日本に欠かせない海中・海上の専門を養成することは、今後、我が国の重要部門である。

併せて、再び相互交流を深め生徒、関係者が往来し、新時代のスタートを考えるが、町は関係機関に呼びかけはできないか。

町長 6月8日、拓心高校マリン校舎魅力化推進協議会を開催する。今回提案の学科案を含み議論したい。

問② 令和6年9月10日、議場での全員協議会には苓北風力発電所関係者出席の中、私は「町内建設資材会社から業務委託約書を交わしておきながら理由も告げず取引が一方的に停止された」との質問に、会社は質問は文書で提出を要求。後日、(株)レノバ社宛てに送付したが、会社から、議事事務局を訪れ口頭で「総合的な判断として回答できない」との回答だった。

「理由告げず一方的な取引停止」と「口頭での回答内容」等は、協定書第3条、資材の管内からの調達等、及び第11条の疑義等に該当するのではないかと。ぜひ会社、町、県による三者協議開催をお願いしたい。

町長 町も可能な限り町内の事業者から優先的に調達をいただいている。本協定は三者協定であり、熊本県とも相談のうえ、改めて、風力発電事業者と本協定の取り扱い並びに今後の対応を協議したい。



倉田明
議員

こんなことが決まりました!!

令和8年 第3回議会定例会 開催日：令和8年6月3日～5日

■令和7年度 各会計補正予算（専決処分）						
(単位：千円)						
議案番号	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
承認第4号	専決第3号 令和7年度苓北町一般会計補正予算（第10号）	6,594,455	38,222	6,632,677	事業費等の確定による増	○
承認第5号	専決第4号 令和7年度苓北町介護保険特別会計補正予算（第4号）	1,118,143	2,778	1,120,921	事業費等の確定による増	◎

【採決の結果は、下段 賛否表のとおり】 ◎全会一致で承認、○賛成多数で承認

■令和8年度 各会計補正予算						(単位：千円)	
議案番号	事 件 名		補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
議案第35号	令和8年度苓北町一般会計補正予算（第1号）		5,794,000	26,233	5,820,233	本年度、天草地域のナショナルサイクルルート指定に向けて、熊本県が町道を含む対象ルートに統一した案内看板や路面標示を整備するにあたり、町管理道路分について県に対して支払う「ナショナルサイクルルート整備事業負担金」11,022千円の増ほか	◎
議案第36号	令和8年度苓北町水道事業会計補正予算（第1号）	収益的収入	205,237	9,900	215,137	水道事業繰入金9,900千円の増	◎
		資本的支出	60,691	9,900	70,591	志岐浄水場薬注制御盤1系修繕9,900千円の増	
議案第37号	令和8年度苓北町下水道事業会計補正予算（第1号）	収益的収入	478,706	2,500	481,206	下水道事業繰入金2,500千円の増	◎
		資本的支出	262,860	2,500	265,360	家屋等新築に伴う公共樹設置2,500千円の増	

【結果の表示について】 ◎全会一致で可決

■条例制定（議員発議を含む）・一部改正等について

議案番号等	事 件 名	備 考	結果
承認第3号	専決第2号 苓北町税条例の一部を改正する条例（専決処分）	地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴う改正	◎
議案第32号	苓北町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律（令和6年法律第59号）が施行されることに伴う改正	◎
議案第33号	苓北町税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律（令和8年法律第2号）が令和8年3月31日に公布されたことに伴う改正	◎
議案第34号	苓北町火入れに関する条例の一部を改正する条例について	天草広域連合火災予防条例（平成13年天草広域連合条例第26号）において林野火災に関する注意報が位置付けられたことを踏まえての改正	◎
発委第1号	苓北町議会ハラスメント防止条例の制定について	苓北町議会として、あらゆるハラスメントに対する議会としての姿勢を明確にし、全ての議員及び職員等が個人としての尊厳を尊重され、良好な議員の活動環境及び職員の勤務環境を確保することで町政の効率的運営に寄与し、もって町民から信頼される議会の実現に資することを目指すための条例制定。 提出者：議会活性化等検討特別委員会 高戸幸雄 委員長	◎
発議第3号	苓北町議会議員定数条例の一部を改正する条例について	人口減少に伴う本町の財政状況を鑑み、早急の議員定数の削減が必要と考えられるため、議員定数を10人から9人に削減するもの。 提出者：廣田幸英 議員	×
発議第4号	天草拓心高校マリン校舎入学奨励金の支給に関する条例の制定について	苓北町内の中学校から天草拓心高校マリン校舎へ進学する生徒を広く求め、町外からの生徒と地元生徒間の交流等を幅広く実現することにより、苓北町の発展と天草拓心高校マリン校舎の更なる充実のため、また、唯一の町内高校である天草拓心高校マリン校舎の存続を強固にするための条例制定。 提出者：松本良人 議員	×

【結果の表示について】 ◎全会一致で可決（承認）、×賛成少数で否決（賛否表は下段のとおり）

■条例改正等賛否表（○ 賛成・● 反対・議長（野崎）は採決に加わらない）

議案番号等	事 件 名	結果	表採決	田嶋	山口	廣田	松本	浜口	田嶋	倉田	錦戸	高戸	野崎
			賛成：反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
承認第4号	専決第3号 令和7年度苓北町一般会計補正予算（第10号）	承認	8：1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
発議第3号	苓北町議会議員定数条例の一部を改正する条例について	否決	3：6	○	●	○	●	●	○	●	●	●	-
発議第4号	天草拓心高校マリン校舎入学奨励金の支給に関する条例の制定について	否決	3：6	●	●	●	○	○	○	●	●	●	-

問① 下水道は、平成16年度計画区域で供用を開始した。処理人口を7100人として計画されたが、近年の大幅な人口減少の結果5100人を下回る状況から施設内の稼働低下が今後の課題である。令和8年度から10年度の3ヶ年7億4千万円相当額の施設更新が計上された。一方、水道施設では、現行の耐震基準を満たさない施設が存在するのは。今後増大する維持管理業務費から経営環境はより厳しくなると考える。対策は。

町長 下水道では、今後も埋設管や各地域のポンプ場の老朽化が進行し管理費用の増大が顕在化している。水道事業は、耐震性能が十分でないものが一部存在している。将来にわたり持続可能な事業運営を図るため、「生活環境整備対策委員会」へ「上下水道料金の適正化について」諮問を行っている。今後委員会の答申を受け適正な措置を行っていく。

再問 最近、城下地区で修繕工事が昼・夜と2回実施されたが、一定範囲規模以上の工事は、労働安全上夜間の工事は控えるべきである。利用料金改定については、丁寧な説明を行い慎重に進められることを望む。

問② 農業経営基盤強化促進法が施行されいち早く地域で守られてきたふるさとの農地を次世代に引き継ぐため地域策定に取り組みれてきたが、今後の実行計画は。

町長 地域が主体的に活動を進めて行く組織づくりを目指しながら、農地利用の適正化、耕作放棄地の防止、地域を担う新規就農者の確保や人材育成に努めてまいる。

問③ 地域農業の将来を見越した施策のひとつが遊休農地解消と圃場の適切な管理のため小規模土地改良補助事業である。最近申請者の直営が認められたが、この条件を更に進め農家間の協力で本事業にあたる検討を。

町長 令和8年度から、重機等を所有されている農業者や物価高騰等への影響を考慮し直営施工についても対象とした。農業者間で施工する場合でも町の基準単価で算出した事業費に補助率を乗じた額を補助金として検討する。

再問 事業の大半は地域中山間地域である。少しでも農地の集積・集約化を図られ営農条件の整備が進められるのではないかと。

- ① 上下水道事業の今後の在り方について
- ② 地域農業を守る（地域計画策定後）について
- ③ 小規模土地改良補助金の内容検討について



高戸 幸雄 議員

全員協議会

令和8年6月4日(木) 議会議場

1. 苓北町指定管理施設の料金改定について

増加などの課題があり、利用料金を見直す方向で検討を行っている。苓北町老人福祉センターにおいても、アンケート調査結果を踏まえた上で、入館料を見直す方向で検討を行っている。

2. その他

① 本渡地区清掃センター不燃ごみ処理施設（回転式粉砕機）爆発事故の状況報告について

令和8年5月27日午後4時15分頃、回転式破砕機室内において爆発が発生した。

現時点では特定の要因に原因を限定する段階には至っていない。詳細な原因について、専門的な調査を依頼することとしている。

② 新ごみ処理施設整備基本計画策定業務の進捗について（中間報告）

構成市町との協議をとおして、各計画との調整を図りながら策定事務が進められている。

1. 苓北町指定管理施設の料金改定について

執行部から次の説明を受けた。

苓北町温泉センター、苓北町温泉プール、苓北町老人福祉センターの3施設において、令和9年3月31日をもって現在の指定管理者の委託期間が満了となるため、本年度中に指定管理者を募集し、決定した上で、来年4月1日から新たに指定することとなる。

募集に際しては指定管理委託料を算定する必要があり、町では現下の燃料費や電気料金、役務や物価の高騰などの経済情勢も考慮した中で、各施設の利用料金について今年当初より検討を行ってきた。

参考資料とするために「麟泉の湯」に関するアンケート調査を実施。

アンケート調査結果及び近隣温泉施設の料金を参考にしながら、大入料金を現行500円から600円に見直す方向で検討を行っているところである。

苓北町温泉プールにおいても、燃料費等の高騰による施設維持費の増加、設備の老朽化に伴う修繕料の

承認第4号 専決第3号
令和7年度苓北町一般会計補正予算
(第10号)に対する討論

承認に反対討論

松本議員

予算の組み方に疑義がある。通常は、当初予算に、一般財源を多く計上し、精算により補助金が多くなった場合、一般財源を少なくするのが一般的である。しかしながら、今回の予算の組み方は違う。補助金、起債額が多く計上されていたと思われるが通常はあり得ない。また一般財源の増額が、減額となる国庫支出金と地方債を足した額が同額となっている。このようなことも通常あり得ない。この予算の組み方はおかしい。

今回のような予算の組み方はあってはならない。本件に反対する。



原案に賛成討論

田崎議員

本条例制定は、マリン校舎に対する「町の思い」であると考えて。よって、ぜひ必要であると考えて。

松本議員

私はマリン校舎入学準備資金の廃止に伴い、新たに天草拓心高校マリン校舎へ入学を奨励する為マリン校舎入学奨励金を支給する条例を提案した。今年度は県外から東京2名、福岡2名、鹿児島1名である。県外からの入学者の中には、苓北町に大きな夢を抱きマリン校舎を選んだ生徒もいると思う。しかし苓北中学校から4名であった。地元生徒の少なさに驚いた生徒もいると思う。町の活性化推進の為に本町の子どもが一人でも多く拓心高校マリン校舎へ入学し、町外の子供達と交流を深めるために本条例の制定に賛成する。



発議第3号 苓北町議会議員定数
条例の一部を改正する条例に対する
討論

原案に反対討論

倉田議員

この件は、議員のみならず、町政全般に拘わり「議員定数等特別委員会」を設置し、慎重審議すべき事案で、唐突の提出は如何なものか。現在の町議会議員定数は7回の「特別委員会」を開き、2人削減案を令和3年3月定例会で承認され現在の10人に至っている。最近の県内類似自治体人口と議員定数は、玉東町5、158人、小国町5、765人、高森町5、264人、苓北町5、844人で各町の議員定数は10人であり、提案理由を鑑みても削減の必要はない。

山口議員

苓北町は、苓北火力発電所の固定資産税収入により財政力が高いが、急速な人口減少と高齢化・少子化の進展により経済活動は低迷。そのため、高齢化・少子化対策や1次産業等の活性化に多種多様の施策を実施しているが、議会においても、施策の成果確認や幅

松本議員

私はこれまで、「町民を代表する議会議員は一人でも多い方がよい」ただし、「議員の報酬を減額すべき」と主張してきた。また、前回の選挙から選挙カーの借り上げ、燃料代、人件費等の選挙費用は町の予算から支払われ、多額の税金が使われている。私は、このことにも反対し、選挙期間中自転車でお願ひして回った。人口減少による税収の減は避けて通れない事は理解するが、財源の確保はそれぞれ知恵を出し合い努力をしたならば得られる。

この事から、本件に反対する。

錦戸議員

議員定数削減の提案理由にあるように、人口減少は進んでいるが、議会は町の運営に重要な議決機関である。議会構成・議会の機能等を考えると、現在の議員定数で良いのではと思う。

提案理由に人口減少に伴う、本町の財政状況を鑑み、早急の議員定数削減が必要と考えると言われてはいるが、私は

先に述べた理由から、議員定数削減より、報酬削減を考えるのが良いと思う。反対する。

原案に賛成討論

田嶋議員

町の人口減少は、予想を上回るスピードで加速している。また、若手議員のなり手不足も深刻である。現在の議員定数が10人だが、人口に対して適正なのか。定数割れも危惧している。今後、議員報酬も含めて議論していくべきではないかと思うので、賛成する。

発議第4号 天草拓心高校マリン校舎入学奨励金の支給に関する条例の制定に対する討論

原案に反対討論

田嶋議員

マリン校舎入学準備金の廃止の時も発言したが、同じ島内の高校に入学する人と区別することはどうか。また、入学奨励金目的で高校を選ぶわけではないので、賛成することができない。よって反対する。

苓北町議会ハラスメント防止条例が制定されました 令和8年6月8日公布

議案提出者：議会活性化等検討特別委員会 委員長 高戸 幸雄

【提出理由】

近年、全国の地方議会においても、議員間、議員と職員等との間におけるハラスメント事案が社会的課題として顕在化しており、議会の信頼性や健全な議会運営に重大な影響を及ぼすことが指摘されている状況であるため、本特別委員会において協議を行ってまいりました。

今回、苓北町議会として、あらゆるハラスメントに対する議会としての姿勢を明確にし、全ての議員及び職員等が個人としての尊厳を尊重され、良好な議員の活動環境及び職員の勤務環境を確保することで町政の効率的運営に寄与し、もって町民から信頼される議会の実現に資することを目指すため。

【制定された防止条例の内容】（一部抜粋して掲載）

（議員の責務）

第3条 議員は、町民の代表として常に高い倫理観を持ち、ハラスメントが個人の尊厳を不当に傷つけ、人権侵害に当たること及び職員の労働意欲を低下させることを認識し、ハラスメントの防止に努めなければならない。

- 議員は、ハラスメントを行った事実があると疑われたときは、自ら誠実な態度をもって事実を明らかにし、説明責任を果たさなければならない。
- 議員は、他の議員がハラスメントに当たる言動を行っていると思われる事態に遭遇したときは、当該議員に対し厳に慎むべき旨を指摘するよう努めるとともに、議長に当該事態について報告しなければならない。

ハラスメントとは…

パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント、妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメント、その他の誹謗、中傷、風評等により相手方に対して人権を侵害し、又は不快にさせる行為をいいます。



苓北町議会は、あらゆるハラスメントを防止し、
町民から信頼される議会の実現に資することを目指します。



町花「はまゆう」

議 会 日 誌

(令和8年4月21日以降分)



町木「ツバキ」

4月

28日(火) 総務文教厚生常任委員会

5月

11日(月) 総務文教厚生常任委員会
 11日(月) 議会活性化等検討特別委員会
 11日(月) 議員全体会
 11日(月) 議会広報特別委員会
 19日(火) 一般質問6回
 20日(水) 議会活性化等検討特別委員会
 21日(木) 議会運営委員会

6月

3日(水)～5日(金) 令和8年度第3回苓北町議会定例会
 4日(木) 全員協議会
 4日(木) 総務文教厚生常任委員会
 4日(木) 建設経済環境常任委員会
 5日(金) 議会広報特別委員会
 17日(水)～19日(金) 総務文教厚生常任委員会視察研修
 23日(火) 議会広報特別委員会

7月

9日(木)～10日(金) 建設経済環境常任委員会視察研修
 14日(火) 建設経済環境常任委員会町内調査
 17日(金) 議会正副委員長Web研修会

議会だより「きずな」に対するご意見をお寄せください。
 メールアドレス: gikai@town.reihoku.lg.jp

次の定例会は

9月

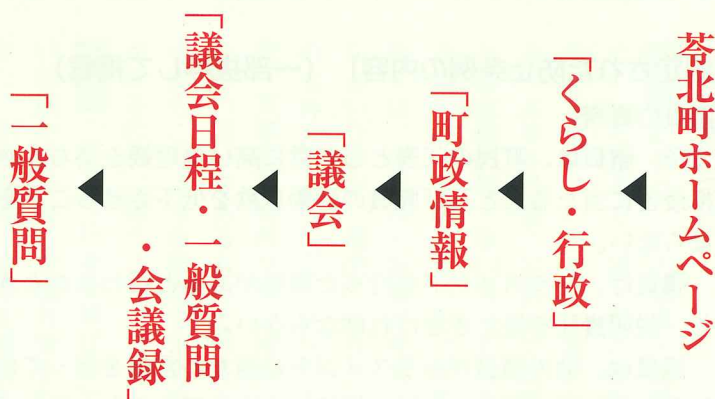
です。

6月定例会の傍聴者は、
65人でした。

会議録は、右記「議会日程・一般質問・会議録」内の「会議録」で閲覧できます。

※令和8年第3回定例会(6月)の会議録は、令和8年9月に閲覧可能予定です。

“定例議会の一般質問がインターネットで聞けます”



上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。

原稿不掲載のお詫び

この度、4月21日発行の「きずな」137号において、田嶋健司議員より提出されていた原稿の一部が、編集上の不手際により掲載されておりませんでした。

町民の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後は再発防止に努め、より正確な紙面づくりに取り組んでまいります。

編集後記

先の国政選挙で圧倒的な勝利を得た自民党は、高市早苗代議士を総理大臣に据え、「強くてたくましい国づくり」を目指しておられます。

たくましい国になって私たち国民の生活が暮らしやすくなることを強く願っております。

議会広報特別委員会